

# 集え明中高の僚友たちよ!



東京千代田区 九段会館

(3F 真珠の間)

午後6時～8時 会費1万円

## 総会

(司会者 天野)

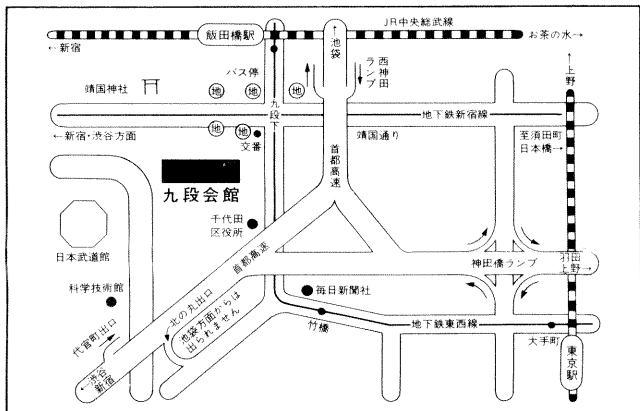
- 一、開会の辞 小林副会長
- 一、会長挨拶 坂本 会長
- 一、会務報告 大場専務理事
- 一、会計報告 大場会計理事
- 一、監査報告 館野監査
- 一、議 事 大場専務理事
- 一、会則改訂の件 保坂明高校長
- 一、来賓祝辞 後藤明大理事長
- 一、閉会の辞 島田明大総長
- 卯木副会長

## 懇親会

(司会者 倉林)

- 一、開宴の辞 ホスト学年
- 一、乾 杯 片岡名誉会長
- 一、ミュージックショウ
- 一、ビンゴゲーム
- 一、来期ホスト学年紹介
- 一、校歌斉唱
- 一、閉会の辞 向殿常任理事

### <ごあんない図>



- ★羽田空港から車で約三十分。
- ★首都高速西神田ランプから車で一分。
- ★JR/東京駅より車で約五分、上野駅から車で約十三分、飯田橋駅から徒歩約十分。
- ★バス/新宿・岩本町、東京大久保、御茶の水・渋谷、茅場町・小滝橋、各九段下車徒歩一分。

# 11月26日総会開催

第24回

# 総明会会報

発行

明治中学・高等学校同窓会  
〒101 千代田区猿樂町2-4-1  
明治大学付属明治高等学校内  
TEL (03)296-4555

編集

昭和35年卒同期会

総 明 会

五十九年開催の第二十回総会で命名された。初代校長の鶴沢総明先生のお名前をいただき、かつ明中高同期会と同窓生の総体の連帯を意味するものである。

ポップスをBGMに

当日は、楽団/小倉典雄とリズムエアーズ(森進一事務所)、司会/綾小路君磨で、昔懐かし六十年代のポップスがBGMとして会場で演奏されます。この恒例の総明会総会、そして懇親会の会場で、あの十代に育かれた思い出を語り合い、総明会連帯の和を築き上げていきましょう。先輩諸氏をはじめ同窓生諸氏の参集を期待しています。

## 九段会館案内

東京都千代田区九段南一-6-5  
電話〇三(二六)五五二一

★地下鉄/東西線・新宿線、九段下車徒歩一分。

★JR/東京駅より車で約五分、上野駅から車で約十三分、飯田橋駅から徒歩約十分。

★バス/新宿・岩本町、東京大久保、御茶の水・渋谷、茅場町・小滝橋、各九段下車徒歩一分。

★羽田空港から車で約三十分。

★首都高速西神田ランプから車で一分。

明治大学理事長

後藤 信 夫

明治大学総長

島田 五 郎

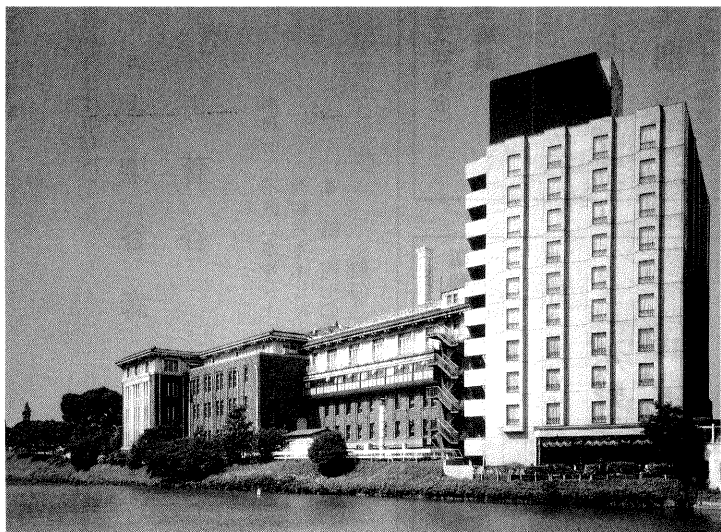
明治大学学長

木村 礎

明球会

卯木 敏 夫

## 緑深く閑静な皇居のほとり。



皇居のお濠をのぞむ美しいロケーション。伝統の中にもシティ感覚を豊かにとり入れた館内。同窓会、各種パーティなどお気軽にご利用いただけます。

・シングル	¥ 6,400～
・ツイン	¥ 10,500～
・デラックスツイン	¥ 17,000
洋室料金は税・サービス料別	
・和室(8帖に3名様)	¥ 16,500
◎1泊2食つきセット	¥ 10,000～
和室料金は税・サービス料込み	

チェックインタイム	3:00 P.M.
チェックアウトタイム	10:00 A.M.
・お食料料金	
朝 食	¥ 1,000
昼 食	¥ 1,000から
夕 食	¥ 2,000から

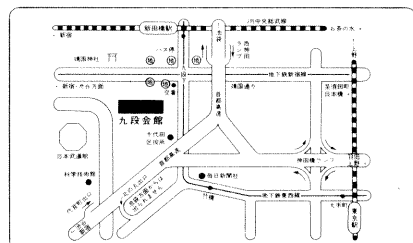
ご婚礼/宴会会/ご宿泊/お食事



出逢いたいせつに  
**九段会館**

〒102 東京都千代田区九段南1-6-5

☎ 03(261)5521(代表)



●地下鉄東西線・新宿線(九段下)下車1分

総明会の皆様には益々ご健  
にて、各界各分野での活躍を  
心よりお慶び申し上げます。

皆様のご活躍を在校生と共に  
お慶び申し上げ、また母校明治  
の誇りと思っております。

更に有難いと思っております  
は、たくさんございますが、そ  
の一つは、卒業生の皆さんが後  
輩の面倒をよくみてくださり、  
絶えず母校の応援をしてくださ  
っていることです。クラブ活動  
のコーチを熱心に行ってくださ  
っておりますし、合宿等にも多  
勢参加して後輩の面倒をみてく  
れています。改めて会報を通し  
て厚く心より、御礼を申し上げ  
ます。

さて、澎湃たる教育改革の大  
波は、すでに審議の段階から具  
体的実施の段階に入ってきてい  
ます。

私達は、私学としての独自制  
を發揮しながら、二十一世紀に

「青春が還る『嵐ヶ丘』に立つ」  
この一句は、昨年、六歳の女  
の子の孫と、四歳になる男の子  
の孫とが居るロンドン駐在の娘  
婿と娘の家へ暑中休暇を利用し、  
老妻を伴い私事旅行した時の俳  
句。

と言うのが、私は早稲田の英  
文科出身で、昭和十四年の卒業  
なのだが、当時英語は敵性外国  
語で原書の輸入が思うにまかせ  
ず、エミリー・ブロンテはその作  
品がこの「嵐ヶ丘」一作だとい  
うのをいいこととして、卒業論  
文のテーマに選んだ。

しかし実際は難解な方言沢山  
の英語で手に負えず、大和資雄  
先生の翻訳本を片手に悪戦苦斗  
した記憶が今でもはっきりして  
いる。

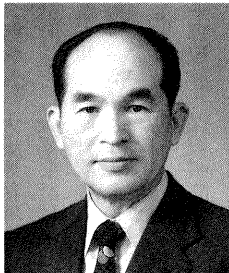
そんないきさつを知ってか知  
らず婿が自分で運転する車に私  
たち夫婦と娘と孫たちを乗せて

向って、国際社会に生きる若人  
を育成するという視点に立つて、  
国民としての必要とされる基礎  
的な内容を重視し、個性を生か  
す教育を図っていかねければな  
らぬと共に、自ら学ぶ意欲をも  
ち、社会の変化に主体的に対応  
できる豊かな心をもち、たくま  
しく生きる人間の育成を図るこ  
とが最も肝要であると考えます。  
そしてこれら多くの課題を解決

## 国際社会に生きる若人を育成

### 教育は人にあり

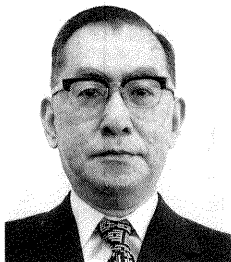
明治中・高校長  
保坂吉彦



大きな関心と呼んでいるところ  
であります。

私は学校という集団生活を通  
して学習する場に、一定の校則  
―生徒心得―が必要という認識  
に立っていますが、ただ生徒に  
とって、外的拘束力として受け

## 総明会によせて



### 青春に還るおもい

総明会会長  
坂本朝一

## 同窓会で門戸を開き教育相談

の自動車旅行を計画してくれ、  
ハワースのエミリー・ブロンテの  
生家へ案内してくれた。

其処は今、博物館になってい  
て、観光客が押す押すな。そ  
れでも、今やエミリー・ブロンテ  
の人氣が、姉の『ジェーン・エ  
ア』の作者のシャーロット・ブ  
ロンテを上回る有様。

そんな訳で、この部屋でエミ  
リ・ブロンテが「嵐ヶ丘」を書

するため、特に付属校独自の教  
育に必要な物的条件として、学  
校施設設備の拡充問題、更に個  
性重視、国際教育等の推進のた  
めの諸条件の整備が最大の課題  
であり、今後これに全力を挙げ  
て取組まなければならないと思  
えております。

更に近時、学校教育をめぐる  
問題点としては、校則を含む生  
徒指導の在り方の問題も社会の

止めるにとどまることなく、生  
徒自身の内面の自己抑制力の向  
上にまで至らせるよう指導する  
ことが、より必要であると考え  
ます。更に校則は不易なもの、と  
またその達成状況に応じて、適  
時適切に改善をしなければなら  
ないと思っております。

古来「教育は人に在り」とい  
われます。

私共教職員は、研鑽を積み、  
識見を高め、人間としての修業  
に努め、中等教育の役割、在り  
方を考究し、実践し、皆様の母  
校「明治」の名を益々高めて  
いきたいと念じております。

明治中・高は皆様方にとつて  
は青春の日の思い出に満ちた  
「ふるさと」であります。

母校への一層のご支援をお  
願いいたしますと共に、総明  
会の益々のご発展と、皆様方  
のご活躍を祈念する次第であ  
ります。

一緒に語ることの出来る場に  
して頂きたいと思う。

私は今、早稲田大学の評議員  
を依頼されているのだが、先日  
その仲間から、明治大学の同窓  
会が新潟で開かれた時の話を聞  
いた。その時、同窓会側は、明  
治大学の卒業生のみならず、そ  
の地方の高等学校や中学校の在  
校生、父兄などに教育上の相談  
を受ける場を設け、明治大学の  
声価を高めていたと聞かされ  
た。

私は明治大学の附属旧制中学  
の卒業生の一人として、明治大  
学のそのような門戸を開いた姿  
勢の話を感銘深く聞いた。

たしかに総明会に出席するこ  
とに依って母校愛に燃えること  
はうれしいことだし、大切なこ  
とだが、日本全体の教育の問題  
を念頭から外してはいけないと  
思う。

おもしろい」をさせられる訳である。  
従って、又、同じことの繰り返  
しだが、当番学年の皆さんは、  
呉々も無理をなさらず、只、お  
互に会って語り明すことが無上  
のよろこびと思っていたきた  
い。

しかし、所謂「クラス会」と  
異なり「総明会」は、老いも若  
きも一同に会する機会だから、  
仲間同士の会話に加えて、老若

明治中学・高等学校

校長  
保坂吉彦

住所 千84 東京都小金井市  
本町五十四番一、二、四  
電話 〇四二二  
(八二) 〇六〇四

昭和32年卒

# 明治会

代表幹事＝山崎敬生・小林正三郎・北郷新一郎

昭和二十六年卒業（猿楽会）

会長 卯木敏夫

副会長 小林明

「 齊藤英二

会計 熊井実

事務局 武政芳則

他会員、同

事務局連絡先

千代田区神田岩本町一

岩本町ビル73号 武政方

二五八八 七九

昭和九年卒業

総明会会長

日本放送協会名誉顧問

国家公安委員会委員

坂本朝一

住所 千25 川崎市麻生区

上麻生二丁目四十二番四

電話 〇四四

(九八八) 九三六六

昭和三十五年卒

染谷総合法律事務所

弁護士 染谷宏

弁護士 菅谷徹

事務所

港区六本木三十一番一、二

秀和六本木ビル五階504号室

電話 四七〇一〇六一九

四〇二六八二三

昭和三十六年卒（明駿会）

墨田区議会議員

税理士

坂下おさむ

坂下朋之

(六十二年卒)

墨田区向島三丁目一十八番

六番五十二番五十四

昭和二十八年卒

弁護士

君塚美明

港区西新橋三丁目一五番

西新橋中央ビル6F

四三三七 五七三

昭和二年（第十一回）卒

明士会

文京区千駄木三丁目一六番

八二二 〇七五

昭和九年卒

株平田袋物工芸

平田満也

台東区蔵前四丁目一八番一六

八五二 一四九〇

明治高校野球部

監督

山本晃裕

昭和四十二年卒

銀座中央法律事務所

弁護士 小野寺昭夫

中央区銀座八番一、二五

河北ビル5F

五七三七 六六一三

昭和三十四年卒

硬式野球部OB会

宮沢政信

下田義夫

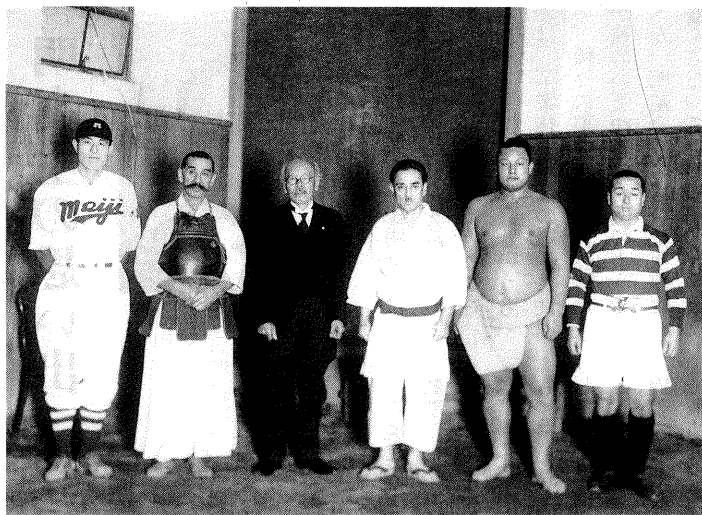
小川栄三

羽鳥勝己

橋本隆昌

高橋国男

田中迪夫



明大スポーツ黄金時代

昭和13年12月19日、明大相撲部道場にて。双葉山が明大相撲部師範となった記念。右からラグビー部・北島監督、双葉山、柔道部師範・三船久蔵九段、明大総長・木下友三郎先生、剣道部師範・中山博道剣聖、野球部・谷沢監督。

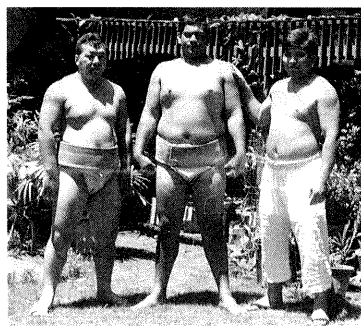
明中では春日先生が担任、象さんの愛称の如く体も大きく心の優しい先生でした。私は学業は全く不得手でしたがスポーツ特に格闘技が好きで講道館に通い二段でした。昭和七、八年頃嘉納治五郎先生も御健在で講道館では三船久蔵、永岡秀一、徳三と名人、達人の名に相応しい方々の稽古を目のあたりにし、偶には稽古をつけていただきました。貴重な体験でありました。東京育ちで力が弱いので当時の力持ち若木竹丸氏に鉄鉦鈴を習いました。

夏休みには両国の国技館の稽古場で巡業に出ない力士と一緒に稽古をし、春日野(栃木山)、藤島(常の花)、佐渡ヶ嶽(阿久津川)、武隈(両国)という相撲協会の親方衆の指導で相撲技の奥深さが感ぜられました。大切な思い出です。相撲には教本がなく、口伝による教えを素直に守り体で覚えることが大切でした。幸にも二年で選手となり昭和十一年夏樺太遠征に参加し大泊、豊原、真岡、恵須取、敷香などの都市と北緯五十度の国境を見学しました。敷香では馴馬を見、街には大きな樺太犬が遊んでいるのを憶えております。次で昭和十二年三月ハワイ遠征に参加し

明大相撲部とともに

旧制中九年卒 元明治大学教授 瀧澤壽雄

ワイでは各島で試合をしました。外人、混血の選手が多く、日系人の指導で相撲も巧く、四股名までつけ体は幕内力士並でした。砂山(スペイン系)、広瀬川(ポルトガル系)、八幡山(有吉)ハワイ州前知事のお父さん、沖の海など強豪揃いでした。沖の海は戦後沖謙名として日本のプロレスに貢献しました。ハワイではマウイ島の日の出、コナの夕日に魅せられ、果物の美味しいうち、殆どの家で鍵がないのに驚きました。四月に帰国、七月には日中戦争勃発。軍事教練が活発になりました。昭和十三年三月樺太遠征、国技館の選手権で幸運にも個人優勝しました。十二月には六十九連勝中の横綱双葉山を師範に迎え、生のお世話でした。木下総長が柔(三船九段)、剣(中山範士)、相撲(双葉山)の第一人者が師範になり、野球(谷沢監督)が四連覇、ラグビー(北島監督)が三連覇と喜んでおられました。昭和十四年三月政経学部をやつと卒業。大谷重工業入社。十二月我孫子の高射砲二連隊に入営。終戦後二十一年三月復員。戦地は比島、ニューギニア、ラバウル、ソロモン群島でした。飛行中敵機との遭遇、潜水艦(イ号八潜)で移動中に受けた爆撃、爆雷の恐怖は忘れられません。西南太平洋の天王山といわれたラバウルでは航空撃滅戦の最中防空隊司令部におりました。毎日五百機位が来襲し迎撃の零戦と壮烈な空中戦、不謹慎ですが壮観でした。ボーゲンビル島ではトロキナ岬のアメリカ軍と隣



昭和三十一年七月四日(米国独立記念日)、ハワイ・ホノルルにて。ジェシー・高見山十五歳(中央)。

昭和二十一年三月焼野原の東京に復員、明大、明中は幸にも被災を免れていました。明大相撲も健在、明中にも大橋先生にお願いして相撲部ができました。そして戦後落着くとともにハワイの旧友との交流がはじまり、昭和三十六年七月四日(アメリカ独立記念日)にホノルルの相撲大会で、カナカの大きな少年が日系人に混じって不器用な相撲をとっておりました。赤銅色で金剛力士の卵といった感じでした。ジェシー・タハウル君(中学三年生)でした。早速大相撲入りを勧めました。高砂部屋に入門、高見山になりました。この頃韓国の格闘技シルムを研究しましたが、相撲より柔道に似た技が多く、シルムの素地をもつ韓国柔道選手がソウルオリンピックで活躍することでしょう。在職中の最後にバスケット部の部長を勧めました。全く不似合なポストでしたが明中OBのお勧めでした。アメリカ、ハワイ、韓国の遠征にも同行し球技の良さ、面白さが解りました。これからは老齢のため見るスポーツを大いに楽しみたいと思っております。

昭和三十年卒業 同期会

- 会長 大場隆之
- 副会長 伊藤 寿
- 八十島 庸郷
- 西秋忠男
- 田村正彦
- 中瀬 裕
- 中堀 茂
- 幹事長 石田彰之

事務連絡先  
習志野市袖ヶ浦四一五二一四  
(大場方)  
〇四七四一五二二九七

昭和三十一年卒

株式会社 サトウ・エレガンス  
代表取締役 佐藤眞一  
台東区浅草橋二二五五七  
八六三二〇三六八  
八五二一七八四七

昭和三十一年卒

布帛・毛糸 帽子製造卸  
株式会社 東 栄  
代表取締役 土田 饒  
中央区日本橋馬喰町一三三十五  
六六四一〇八二〇〇

昭和三十五年卒

旅館 しみず別館  
新井秀幸

東京ドーム前坂上  
文京区本郷一三〇一二九  
八二二六二八五

昭和三十五年卒

株式会社 田野井製作所  
海老沢 康弘

品川区大崎四一六四  
四九〇一六七二八

昭和三十七年卒

稲田革漉所  
稲田俊秀

台東区鳥越二二七一五  
八六三二二八二

昭和三十七年卒

鶏 卵 業

黒川 秀之進

荒川区荒川五二七二  
八〇六八八六〇

昭和三十七年卒

小山弓具株式会社

小山雅司

千代田区神田須田町一六  
二五六一二〇〇

昭和三十七年卒

合資会社 野沢酒店

野沢正義

昭和三十五年卒

有限会社 高瀬徽章製作所

高瀬元孝

昭和三十五年卒

代表取締役

高瀬元孝

千代田区神田神保町一三三四  
二九一一五九四六

明治高校同窓 木場グループ

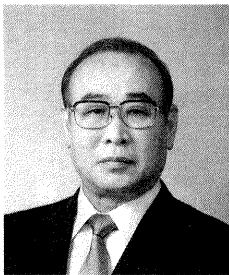
計三十六名

- 昭和十八年卒 落合 博 南落合製材社
- 昭和二十年卒 大堀雅義 大木材株
- 昭和二十年卒 細田孝治 細田木材工業株
- 昭和二十年卒 大出 彰 大出産業株
- 昭和二十一年卒 大出育男
- 昭和二十二年卒 二瓶満吉 二瓶木材株
- 昭和二十三年卒 渡辺徹郎 南九三商店
- 昭和二十三年卒 前崎保良 前崎材木店
- 昭和二十四年卒 渡辺 治 南九三商店
- 昭和二十五年卒 細田悌治 細田木材工業株
- 昭和二十五年卒 郷野純紘 株九市商店
- 昭和二十七年卒 大出 宏 大出産業株
- 昭和二十八年卒 小川洋一 株九水商店
- 昭和二十八年卒 村井宏二 数矢製材株
- 昭和二十八年卒 野沢康衛 九十木材株
- 昭和二十九年卒 堺 健一 昭栄木材株
- 昭和二十九年卒 鈴木政明 福寿木材株
- 昭和三十年卒 鈴木正之 株京正商店
- 昭和四十年卒 吉村壹郎 株吉村商店
- 昭和四十年卒 中村多喜雄 中村木材株
- 昭和四十年卒 小川秀次 株九水商店
- 昭和四十年卒 亀井清一郎 株亀井商店
- 昭和四十年卒 平塚敬太郎 株京梅商店
- 昭和四十年卒 松崎弘泰 株松崎商店
- 昭和四十年卒 森 秀男 株森商店
- 昭和四十年卒 木下登志一 株木下商店
- 昭和四十年卒 坂田真彰 株坂田商店
- 昭和四十年卒 二瓶雅太郎 二瓶商店
- 昭和四十年卒 酒井晴比古 酒井木材株
- 昭和四十年卒 庄野國彦 南庄野商店
- 昭和四十年卒 森 暁二郎 株平岩商店
- 昭和四十年卒 金子敏一 南金平商店
- 昭和四十年卒 山崎茂樹 山本大商店
- 昭和四十年卒 豊田和伸 豊田鉄工所
- 昭和四十年卒 山本哲夫 東亜木材工業株
- 昭和五十八年卒 鴨川佳明 株鴨川商店



明高生の思い出『明治の心』

中野隆彰

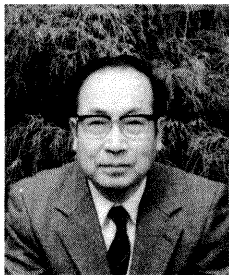


明治高校同窓会「総明会」は本年第二十四回総会を迎えられ、このこと誠におめでとうござい。学校同窓会といふものは、卒業後、時間の経過に従い、種々の事情から、自然と足が遠のいてゆくのが例のように、明治高校の場合も年毎に盛んになってくる様子で、明高に關係を持たせて頂いた者として、本当によろこばしく、頼もしくも思われ、心から同慶の至りと申し上げます。

思えば、昭和二十二年より三十六年間、只一筋明治高生として歩んできた思いがします。長

希望と好奇心で人生を満喫

松本理三郎



海老沢君から近況を書けという、誠に嬉しいお電話をいただき、同窓会の皆様にご挨拶できることを喜んでおります。

明高在職中は毎朝七時に家を出て、八時にお茶の水に着く生活を三十七年間ご声援によりお蔭様にて無事に過しました。

昭和五十七年に停年となり、如何に毎日生活を過そうかと一時は毎日市立図書館に通ったりして

度を変えますが、この原稿を書けと云ってこれた天野君の依頼状の懇切丁寧な気くばり、記憶も薄らいだろうかと私が担任をした学年の「昭和三十五年卒業生住所録及び人物寸描」をコピーして送って下さった野田君の親切さは、わが明高の卒業生の本質の自然の現れではなからうかと今更ながら、うれしく思う次第です。お蔭でこの名簿によって一人ひとりの諸君の名前と寸描で生々しく懐かしい顔思い出すことが出来て感謝しております。

何物に対しても、この明治の愛の精神、気くばり、そして同窓生間の横の繋りをもつて社会に立てば必ずや白色白光それなりの成果を挙げ得ると確信します。

明高中並びに総明会の益々のご発展と同窓生の皆様のご健康とご活躍を祈念してやみません。

三十五年卒業生集合

二次会として

同期会開催

三十五年卒業生諸君、本年度の総会ホスト担当を、久しぶりの同期会の絶好の機会としたいと思ひます。より多く出席していただくことにより、総会を盛り上げることにもなります。

懇親会終了後、同じ会場内のバブ・レストランにて同期だけの集りを用意しました。奮って御参加下さい。

(別会費五千円)

天野 洋一  
野田 繁

昭和三十六年卒

有古庄ラミネート工業

古庄弘勝

葛飾区四つ木三二二一〇  
六九二一三三六四

昭和三十五年卒

美濃武彦

中野区本町三二二二二五〇  
三七三二四〇七

昭和三十五年卒

奥山智之

杉並区成田西三二二二二五〇  
三七三二四〇七

昭和三十五年卒

高島株式会社

貿易部一課  
次長 阿部啓次

船橋市坪井町七一九一八  
〇四七四六五二二二七

昭和三十五年卒

細田木材工業株式会社

細田 悌治

江東区新木場一五二二八  
五二二八七〇一

昭和三十五年卒

船内克明

調布市菊野台一三〇一〇  
〇四二四一八三二〇八八

昭和三十二年卒

中富光國

渋谷区渋谷一三三三七  
四〇〇一五五〇〇

昭和三十三年卒

三栄の家具  
インテルナサンエイ

三栄産業株式会社

取締役社長 原 昭夫  
品川区戸越六六六六六  
七八三二二二四二四二

昭和三十五年卒

倉林貞夫

豊島区目白四一八八八  
九五二五八五一

昭和三十五年卒

玩具問屋

株式会社 山縣商店

代表取締役 山縣常浩  
台東区蔵前二二二二二  
八六二二二二二二二

昭和三十五年卒

東和印刷株式会社

石川 恂一

千代田区神田練堀町四九  
二五二二二二二二二

昭和三十五年卒

岩代鋼材株式会社

永村裕次

江東区東砂五九九一九  
六四四二二二二二二

昭和三十五年卒

合名会社 東京おこし本舗

風見洋右

足立区西新井栄町二二二二二  
八八六二二二二二二

昭和三十五年卒

一般鋼材・形鋼専門  
出店鉄鋼株式会社

出店 鋭之助

江東区亀戸七二二二二  
六八二二二二二二二

昭和三十三年卒

藤田義茂

専務取締役  
文京区小石川一三二二二  
八二二二二二二二二

昭和三十三年卒

白山駐車場

文京区白山一五二二二  
八二二二二二二二二

昭和二十九年卒

大熊康浩

川口市青木西一六二二二  
〇四八二二二二二二二

昭和二十九年卒

株式会社 渡辺工業所

渡辺 潔

川口市栄町二二二二二  
〇四八二二二二二二二

昭和三十一年卒

割烹 海老家本店

内木増雄

川口市本町二二二二二  
〇四八二二二二二二二

昭和三十一年卒

各種精密定盤専門製作  
目良昇鉄工株式会社

目良 昇

川口市本町二二二二二  
〇四八二二二二二二二

昭和三十三年卒

渡辺洋封筒株式会社

渡辺 進

川口市青木西一六二二二  
〇四八二二二二二二二

昭和三十三年卒

呉服店 久松

久松 勇

川口市飯塚一三二二二  
〇四八二二二二二二二

昭和三十五年卒

天野洋一

川口市金山町六二二二二  
〇四八二二二二二二二

昭和三十五年卒

稲川 稔

川口市飯塚一三二二二  
〇四八二二二二二二二

昭和三十三年卒

矢沢利之

川口市西川口四二二二二  
〇四八二二二二二二二

昭和四十一年卒

株式会社 荻野商店

荻野 布昌

川口市本町二二二二二  
〇四八二二二二二二二

昭和四十一年卒

日三鋳造株式会社

辻井俊一郎

川口市末広一六二二二  
〇四八二二二二二二二

昭和四十一年卒

高柳正憲

川口市飯塚一三二二二  
〇四八二二二二二二二

昭和四十一年卒

ホンダプリモ川口南  
株式会社 野本自動車工業

営業課長 羽鳥源一

川口市南町二二二二二  
〇四八二二二二二二二

昭和四十二年卒

石井鑄工株式会社

石井 次男

川口市川口二二二二二  
〇四八二二二二二二二

昭和四十九年卒

山田パイプ株式会社

各種鋼管販売  
山田 宏之

昭和四十九年卒

有限会社 花三

田口 隆一  
川口市本町二二二二二  
〇四八二二二二二二二

23回総会報告

34卒 加藤佳一

安く気楽に参加を念頭に

足かけ三年の長丁場。同窓会本部のご苦勞をよそに、それ程協力的でなかった我が学年に、第二十三回総会の幹事学年のご下命があったのは、一期先輩の方々が総会準備に多忙を極めていた頃であった。早速、同期会の中心人物に集合をかけ、基本線を決めた。各総務の分掌、担当を分担して押し進め、一定期間を決めて準備の進捗状況を確認しあつた。そして幹事となつた人々の二十二年総会への出席。総会ムードを肌で感じつつ、本格準備に入つたのは総会直後からであつた。



担当総会が完了するまでに集つた回数は分科会を含めれば五十回を超えたことであらう。四十代の後半ともなれば、それぞれに一言言を持つ者ばかりであり、意見の調整がまず大変であらうとの想像があつたが、我が学年の独特の集団性が良い方へ展開し、それこそ高校時代と同じ会話での準備会、その後での一パイが苦勞の中にも一つの楽しみでもあつた。

いわれていた「安い会費で気楽に多数参加されること」を基本に考え、会場選び、アトラクション等を考える前に、「会費五〇〇〇円」をまず決定。それにもとづいて準備を進めた。その結果が大学会館の利用、伊東(アントニオ古賀)の協力、思いきつて記念品(ネクタイ)とまで進んでしまった。予算に対する不安がないではなかったが、同窓会本部の後押しもあり、ブラス決算となつた次第である。つい先日、最後の仕上げ会を行つた時には感激まるものがあつた。幹事一同おそろくはそうであつたらう。

それにつけても我が期に幹事は二度とないはずであるが、この期間、事務局の大場先輩はじめ皆さんにはどれだけお世話をかけたことか……。今も又、今回の幹事学年が一生懸命やつて下さっていることと思うが、昨年と同じことを再び指導下さっているはずである本部各先輩に感謝して、二十三回総会のご報告としたい。

昨年十一月二十一日の二十三回総会の会場で、本年度のホスト学年として数名の同期生と共に、御来席の皆様の前で紹介を受けて以来、はや一年、月日のたつのが早く感じられるのは、四十七歳という私共の年齢のせいもあるのでしょうか。会場の設営、会報の発行をはじめとして、種々のことに追われ、あつたという間に一年を経過してしまつたという感じがあります。

いよいよ幹事としての具体的な行動を開始して間もなく、二十四回目の総会の開催を担当するという、コトの重大さを痛感

そのにつけてもこの一年間、

連帯の和がより強固に

もてる力を充分に發揮してくれ、馴れぬ手つきで、手探りで、何とかここまでこぎつけ、まずは一段落と安堵の胸をなでおろしているところでもあります。

この結束の良さと連帯の強さに結ばれた大きな人の和がますます大きく拡がり、またより固く結ばれていくことを願つてやみません。

来る総会当日には、より多くの同窓生諸兄が御出席下さいますよう、ホスト学年一同お待ち申し上げます。

ホスト学年幹事報告

35卒 天野洋一

バスケット部OB会

会長 宮本久義  
顧問 小柴仁美

昭和三十四年卒

天戸一光  
小川靖男  
清水弘  
鈴木康男  
内藤和衛  
服部健之助  
藤村良雄  
古川具弘  
山口喜一郎

昭和三十五年卒

木幡 宏

文京区本郷二丁目二〇一九  
八二一六五四

昭和三十五年卒

岩 楯 修 治

墨田区八広六三〇一五  
六一八一五五一

昭和三十五年卒

珊瑚の会

幹事 一同

昭和二十九年卒業

(二九会)幹事

会長 矢嶋 偉 行  
OB会 山 本 巖  
副会長 朝比奈 四十一  
倉田 秀 夫

阿出川 弘  
大橋 成 光  
山本 峰 司  
連絡先 新宿区納戸町一五  
二六〇一六六九

昭和三十九年卒

宇山 尚 宏

中央区月島四丁目一七〇二  
五三三〇六六九

昭和三十九年卒

柴田 正 治

葛飾区堀切三三三五一  
六九二二二二四

昭和三十九年卒

田 沢 泰 弘

文京区湯島一五十四  
八一四一七五五

昭和三十九年卒

本 吉 信 次

江東区南砂二二二二六  
六四四一〇七三

昭和三十七年卒

日本動物薬品株式会社  
日動食品株式会社

取締役社長

吉田 信 行

葛飾区西新小岩四一三七一九  
六九四一七二五

昭和三十六年卒

矢島シン商会

矢島 芳 郎

台東区浅草橋五二二二六  
八五二一〇〇七六

昭和三十六年卒

株式会社 瀧澤商店

代表取締役 瀧澤 正 春

千代田区外神田二二七二五  
二五二二七六五

昭和三十五年卒

有限会社 五十嵐園茶舗

代表取締役 五十嵐 健

港区芝三十四三二八  
四五二二四六二

小室鋼業株式会社

昭和三十四年卒

小 室 秀 夫

昭和三十六年卒

小 室 雅 夫

昭和三十七年卒

小 室 輝 夫

墨田区吾妻橋一七二七  
六二五二二二二

CIM. OA. FA. FMS. MAP. LAN. CAD.  
CAM. CAE. TQC. COMPUTER

DTK SYSTEM INTEGRATOR

TEL. ダイヤルイン 03 (296) 6165

第一実業株式会社 情報システム部  
昭和35年卒 野 田 繁

海外ツアー・自家用車・電化製品・家具  
などの一品種から企業向メベルティま  
での情報ショップ

株式会社 アイ・ハウス

〒108 港区三田3-4-20 サラ三田1201  
TEL 03 (798) 1337  
FAX 03 (798) 1668

# 18歳と47歳の、今昔明高マインド

天野 — お互いに自己紹介の

終ったところで、何人かの方から高三になったので運動部は休んでいましてという発言がありましたが、高三になると受験態勢

## 今も昔も勉強はしなくては

田中 人物評価、成績評価の総合評価で推薦をしますが成績の占める部分も大きいですね。やはり高三となりますと、推薦を出す中五十%を占めますので、そういう意味では自ら勉強していきませんか。でも我々の時代も同じでしたから、変りはないと思います。

新井 私は中三からアイスホッケー同好会に入りましたが、勉強にも力を入れるということ朝早い練習、夜遅い練習ということでした。大学へ入ってから

## 授業は出ないで朝から晩まで野球ばかり

小田島 私は野球部出身なんです。私は朝から晩まで野球ばかりやってました(笑)。今、野球がきつい何の何のといった話にも何にもならない、授業に出なくていいんですから(笑)。とにかく野球やってろ、今のプロ野球っていうかな、それくらい厳しい、その苦しさをいうのかな、何かをやり遂げた、これが今、私の人生の支えになっていっている感じがしますね、「何を学ぶ」ではなく、「どうやって学ぶ」ってことを野球を通して教えられたような気がします。そんな具合で英語の授業なんてろくに出来ないんです。でも仕事で海外出張に行

## 勉強だけでは人を理解できない

野田 会社へ入ってはじめてわかったけど、勉強だけというのは駄目なんだね、人を理解でき

に入っちゃうんですか。

野田 今は勉強勉強できなくなつたね、勉強しないと明大への推薦が受けられないんですか。

もゴルフ部ということで、大学の先生から「お前は何しに大学へ来てるんだ、本末転倒してる」って言われましたけど、勉強も確かに大切かも知れませんが、学生時代の思い出としては勉強以外の方が非常に強く、地理研で旅行に行ったり、運動部で合宿したりということが、非常に懐かしく感じますね。卒業して二十数年たつてみると特にそう感じますので大事にして欲しいと思いますね。

野田 僕もやっぱり塾の先生と相談して最初には早稲田、早稲田の次に……(笑)。

新井 一つの頃からか、受験日が二月一日になったでしょう。ひところはもう四、五日ずれていた、ですから第一志望として受ける学校ではなかった。すべり止めの要素があったわけですね。二月一日になったということ、この学校はと思う生徒が入ってくる学校にはなったわけですね。

定谷 僕の場合は父が明高出身

## 現在は第一志望が明治という生徒が

田中 学校の方としてもやはり、明治に入りたいという子が欲しいということがありまして、入試日を初日に移したわけですね。従って先ほどの話のように、以前はかけもち受験が多かったわけですね。現在は殆んど第一志望であり、合格した生徒は殆んど入ってきますね。

天野 私の場合なんかは、父の友人の息子さんか、父の友人がそれを聞いてきて、「お前、あそこへ行つて試験受けて来なさい」ってわけで、実に簡単なもんだってわけ。

## 親父も兄貴も明治、明治しか考えなかった

野田 小学校五年ぐらいから明治しか考えなかった。親父が明治、兄貴も明治、明治のカラー

で、子供の頃から明治、明治って言うていたから、実は僕、中学は落ちたんですよ。親父が泣いて、僕も泣きましたけど(笑)。

野田 僕も泣きましたけど(笑)。

小柳 僕の場合は昭和五十六、七

菊池 小学校の時に勉強してて、もうこういう勉強したくないと思つて、それなら高校、大学へとながっている……(笑)。

新井 僕は小学校の時、野球が大好きで、明治は秋山、土井がいてすごかった、いつも優勝してたしね。それが魅力だったね。それに家から歩いて直ぐだったしね。

小田島 私は兄が明治だったんですが、やはり野球やってて、グラウンドで急死しちゃったんですが、そんなことで何が何でも試験も受けて入れてくれるって……、入試の成績はそこそこだったと自分では思ってますが……。

昭和三十九年卒  
竜昇堂製本株式会社  
代表取締役 林 正 晋  
〒代田区神田錦町一〇〇  
二九五一五二二〇

昭和三十九年卒  
株式会社 一不二総業  
代表取締役 齋藤 和行  
〒代田区神田神保町一五八  
二九三一九七七六

昭和三十五年卒  
有限会社 クサカモータース  
代表取締役 日下 恒二  
本社 中央区八重洲一四一三  
二七二一六〇七八〇  
深川工場 江東区潮見二二二六  
六四九一八〇七〇

昭和三十五年卒

株式会社 セビックス

代表取締役

笠島 宣男

荒川区東日暮里六二一七二  
八〇六一一五四二〇

昭和三十五年卒  
株式会社 阿部工務店  
代表取締役 阿部 憲一  
大田区東領町一二二二四  
七五二二三三八五

昭和三十三年卒  
サンビジネス株式会社  
代表取締役 遠藤 純  
〒代田区魏町五一三  
二六四一四〇八一二

昭和三十五年卒  
株式会社 ふくや商店  
専務取締役 中西 英雄  
足立区千住五一三  
八八二一一二九八

昭和三十一年卒  
店舗設計・施工 しんどう  
代表取締役 新藤 喜久  
台東区寿一〇八一〇  
八四一一八二二五〇

昭和三十四年卒  
株式会社 東京教学社  
代表取締役 鳥飼 好男  
〒代田区三崎町二一〇一五  
二六三一〇六七二

明治中学・高校剣道部OB会  
見 心 会  
会長 館野 春男  
他会員一同

リーガルは流行を追わず、本流を貫きます。

時代が変っても、リーガルのテーマは「履きやすく丈夫な靴を作ること」。流行に左右されるような靴は作りません。いつの時代も伝統を重んじる頑固な姿勢を貫きとおします。

東立製靴株式会社

千葉県柏市豊四季笹原341番地13 TEL 0471(46)8680~2  
FAX 0471(46)8654

昭和33年度卒業 取締役社長 伊藤 新一

REGAL.



現役生徒とOBとの座談

7月13日、明治高校二号館会議室にて



- ★出席者★  
(明高三年)  
小柳 貴裕  
菊地 源  
定谷 正春  
清水 康  
野溝 政史  
林 忠利  
(明高教諭、47年卒)  
田中徹太郎  
(35年卒)  
天野 洋一  
新井 秀幸  
小田島伸和  
野田 繁

立教に落ちて泣きながら明治へ  
清水 僕は立教に落ちて笑った。最初に明治が受かった。

天野 勉強のレベルは僕らの頃と比べると格段に上っているらしいね。運動部のOB会で部長先生にお会いしたら、今の明高には、昔の君達では入れないっていわれたよ（笑い）。  
野田 皆さん、明治を望んで入ってきたの、それとも何らかの試験でその中の明治を選んだわけ。

今の明高に昔の君達では入れない

野田 僕の時とは生徒に対して同じ年代に対して気を使っているとは少なかった、むしろ先生に頼っていた。ある態勢を組んで先生をどうやって説得する。むしろ先生をどうやって説得する。

小柳 いや、そうじゃなくて、自分からやろうって意識の薄れ、無気力になつていて、そんな感じの生徒が多くなっているように思います。  
野田 生徒全体のレベルは高くなっているんだよね、人間一人の知識とかパワーが、だけど小柳君のような悩みはあるかもしれない、反動的にね。僕らの頃はむしろ少し抜けてたぐらいだね。

昔も今も気質は変わらない

田中 私も卒業生で生徒をよくみて、自分達と比較するときにありますが、気質からいいますと、今の子は非常に明るいと思うんです。これは生活環境も全く違いますが、本質的なものはあまり変わっていないような気がします。比較的たくましい子が多いようで、例えば昔は体育祭という、体育科を中心にしたから生徒の自主的運営をしていたのですが、三年ほど前から、生徒が全部号令かけて自主的にやってくれる。こういうところをみると、極めて良くなっている。決してひ弱な感じはしない。逆に自主的に何かをやろうという面では、環境を与えられると非常に伸びるというところがあります。また大学への推薦制度そのもの。

OBと生徒との接点

野田 生徒の皆さんからOBに望むことってありませんか、OBの存在そのものに関心がないかも知れないが。  
清水 そんなことはありません。僕はバスケット部ですが、コーチの方が四十何歳で、試合というOBの方が大勢集って応援してくれる。  
田中 だいたいうちの運動部の場合は、コーチの方が殆んどOBの方が多くいます。本手に手弁当で来ていただいて、そういう方に支えられていますから。  
小柳 僕もバスケット部ですが、四十歳から五十歳の先輩が毎年、会館なんかに来てくれて、飯の盛り方から座り方、話の聞き方までという具合に教えてくれるというところがあって、初めは僕はすごい抵抗ありましたけれど、今高三になってみると、六年間たつて、あれは本当にいいものだと思っています。今、限られた先輩しか来ていないと

終り

昭和三十五年卒

松葉流古流いけばな

家元 田中 一秀 (栄寿)

足立区梅田二一八〇一  
八八六五九二〇

昭和三十三年卒

千代田雑貨株式会社  
初谷 幸祐

千代田区外神田二一〇一八  
二五二八九二〇

昭和三十三年卒

株式会社 小村ビル  
小村 満

中央区日本橋人形町三三〇  
六八二一〇四三

昭和四十二年卒

株式会社 大橋洋紙店  
大橋 博

豊島区東鴨田二六六一  
九八二〇五〇一五

昭和三十二年卒

まつの屋旅館  
松野 英雄

台東区東上野三二四一八  
八三四四六六

昭和三十五年卒

早船建設株式会社  
代表取締役  
松本 捷紀

所沢市緑町一四  
〇四二九二二四二〇九

昭和三十五年卒

有限会社 ネームプレート製作所

取締役社長

横田 和宇

港区三田四一八二二  
四五二八六六〇

昭和三十五年卒

水谷工機有限会社

代表取締役

水谷 守宏

港区六本木三二六八二〇七  
五八五八五〇〇

昭和三十四年卒

ラブリオン株式会社

代表取締役

高橋 秀典

台東区浅草橋四一九一七  
八六二一七六

昭和三十八年卒

株式会社 ワープ

代表取締役

高橋 正作

港区六本木七五二二  
四〇五九二二二

昭和三十七年卒

株式会社 合同

代表取締役社長

長棟 良元

本社

墨田区業平二一八八  
八二九一五五五(代)

茨城支店

竜ヶ崎 市寺後三二二四  
〇二九七一六四一七

茨城工場

竜ヶ崎 市寺後三五二〇  
〇二九七一六四一七



# 昭和62年度活動報告

## 会員登録の自動化や 新版名簿の発刊など活発に展開

総明会の目的は、母校の明治中学・高校に学んだ同窓会員が集い、会員相互の親睦を図り、更には会員相互の協力関係を深め、あわせて母校の発展に寄与する——ということにあります。

この目的を主軸に、この六十二年度も、年一回の定期総会をはじめ、会員登録の自動化、新版名簿の発刊など、次の事業活動を行いました。

## 62年度会計報告

会計 大場隆之

▼総会は、第二十三回を迎え、昭和三十四年卒同期会（旧雨会）の担当で、十一月二十一日（土）、明大創立一〇〇周年記念大学会館八階大ホールに、参加者三〇〇余名をみて盛況のうちに開催されました。今回は、まず、会費を五〇〇円と、参加しやすい金額にし、また、全員に記念品として、メンバーに連帯感と誇りをと銘打って明治カラーの紺をベースにしたオリジナルネクタイを配布するなど企画にアイデアが盛り込まれ好評でした。アトラクションも同期

簿を刷新し、同時に、登録の自動化を図りました。

▼新版名簿は、五年毎に発行することになっており、今回、増補・改訂し、総明会を冠して初めての名簿を十一月二十一日付で発刊いたしました。また、製作基金として、各学年の有志の方に協賛広告をお願いいたしました。多数ご協力いただきましたこと、紙上より厚くお礼申し上げます。

▼明高関連では、4／5入学

会員各位のご協力によりまして、総明会は、年々、きわめて順調に伸展しております。

そこで、本部では、こうした機運をとらえ、更に一層の飛躍を期すべく、六十二年度は、組織強化のための基礎づくりに着手し、まず、その手始めとして、会員の登録方式を電算化するると同時に、名簿の改訂を行い、これに基づいて会員名簿の最新版を発行いたしました。

なお、次年度は、更にこれを具体化するかたちで、組織部による同期会発足に対する助成、事業部による会員相互の協力関係の拡充や、母校の教職員に対する謝恩会、在校生に向けての講演会など、多くの事業活動が計画されております。

つきましては、基金拡充に一層のご協力をお願いする次第です。

## 総明会昭和63年度予算(案)

(自)昭和63年4月1日～(至)昭和64年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	1,358,592	第24回総会経費	2,500,000
第24回総会会費	2,000,000	第14号会報経費	850,000
第14号会報広告代	2,000,000	会議費	700,000
63年度分年会費	400,000	通信費	1,000,000
新会員入会金	1,200,000	事務・印刷費	250,000
		公用費	600,000
		基金積立	1,000,000
		予備費	58,592
合計	6,958,592	合計	6,958,592

## 総明会昭和62年度会計報告

(自)昭和62年4月1日～(至)昭和63年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	1,836,942	第23回総会経費	2,547,310
第23回総会会費	1,370,000	第13号会報経費	1,348,277
第13号会報広告代	2,659,800	新版名簿製作費	3,000,000
新版名簿広告代	1,490,000	名簿電算化経費	1,200,000
62年度分年会費	390,000	会議費	779,916
新会員入会金	1,200,000	通信費	353,650
積立基金	1,811,287	事務費	139,850
雑収入	369,476	公用費	392,000
		雑費	7,910
		次年度繰越金	1,358,592
合計	11,127,505	合計	11,127,505

上記の通り報告いたします。 監査の結果相違ありません。

昭和63年3月31日

昭和63年3月31日

会長 坂本 朝一

監査 館野 春男

会計 大場 隆之

二村 昌也



## 同期会だより

## 明駿会(昭和36年卒)

加藤真義

昭和三十六年卒の我々の三月同期会である明駿会は、クラス担任だった野呂、境田、三田、釜屋、村野の諸先生方をお迎えして、一年に一度開催している。四十歳台半ばの働き盛りで忙しい連中が多いにもかかわらず、毎回、コンスタントに五十―六十名が参加している。

昨年は十月九日(金)、明治大学一〇〇周年記念大学会館において開催した。今回で第七回目を迎え、参加人数は先生方を含めて五十七名であった。今回も明高時代の良き友達に帰るのは、どの同期会も同じであろうが、幹事を中心にまとまりの良さ、結束の堅さが我々明駿会の特徴である。なお、今年度は、住所録の再整備を行った。

連絡先／〒一一六 東京都荒川区西尾久四四二 加藤真義  
電話〇三(八九四)六三三二

昭和三十五年卒

株式会社 ヤワタホーム

専務取締役

西広良政

千葉県香取郡東庄町笹川一〇〇六  
〇四七八一八六―〇七〇

昭和三十七年卒

日本クリエイト株式会社

代表取締役

大澤忠夫

港区新橋五―八―四  
四三七―五九七五

昭和三十五年卒

ニットウコー株式会社

諸井恒雄

横浜市鶴見区矢向一―二―四  
〇四五―五八三―二〇三

昭和三十五年卒

トビー工業株式会社

小林一皓

船橋市本中山四―四―一  
西船橋ハイム二―三―〇六  
〇四七三―三二六―六二五

昭和三十五年卒

望月章治

藤沢市鵠沼桜方岡一―二―二〇  
〇四六六―二六―四四五

昭和三十五年卒

株式会社 日暮

島田幸雄

荒川区西日暮里三―二―一四  
八二―一五六―二(代)

昭和二十二年卒

壽庵有限公司(石工芸品)

代表取締役

小林弘圓

台東区柳橋一―六―一

昭和三十五年卒

大和ハウス工業株式会社

営業本部東京営業推進室

中村 勝

茨城県北相馬郡棚代町宮和田五三二  
グリーンコーポ三―四―五

昭和三十五年卒

森山次郎

港区赤坂二―一―一五  
五八三―八四四七

昭和三十五年卒

藤代工業株式会社

代表取締役

藤代 信太郎

千葉市富士見二―二―三三  
〇四七二―二四―二七三

昭和三十五年卒

合資会社 ナカハラ

中原敏勝

中央区八重洲二―二―一六  
二七五―一〇一七六

昭和三十五年卒

東京共同梱包運送株式会社

代表取締役社長

小田嶋 伸和

江東区東雲二―一―二二〇  
五二九―一三四―二(代)

昭和三十五年卒

株式会社 宮本卯之助商店

代表取締役

宮本 芳宏

台東区浅草六―一―一五  
八七四―四一三―二(代)

昭和三十五年卒

株式会社 西澤工業所

代表取締役

西澤 忠一

江東区森下二―四―一  
六三一―一三二―〇

昭和三十五年卒

永和グループ

永山 和生

千代田区麹町五―一―七  
秀和紀尾井町  
TBRビル一―〇―九  
三三―四一九七三



春の韓国ツアー大募集!

総明会では、会員より要望の多かった親睦会を検討してまいりましたが、来々4月、卯木副会長を団長とし、韓国の旅を事業部にて実施することに致しました。個人でのご参加、又、同期の皆様のグループ参加も大歓迎です。どうぞ奮ってご応募下さい。

〈問合せ先 03-921-1570 三浦事業部長〉

総明会初の海外親睦の旅  
89年4月実施

63年度総明会執行部新陣容決まる

六十二年十一月二十一日開催の第二十三回総明会総会において、坂本朝一会長の再選が全会一致で可決されましたが、あわせて、新陣容については坂本会長に一任されました。なお、新陣容については、その後の役員会において、坂本会長より次の通り指名されましたので、報告いたします。

63年度新陣容

- 名誉会長 片岡龍夫(大正10年卒)  
会長 坂本朝一(昭和9年卒)  
副会長 小林昭雄(昭和21年卒)  
副会長 卯木敏夫(昭和26年卒)  
専務理事 大場隆之(昭和30年卒)  
常務理事 山崎敬生(昭和32年卒)  
監事 館野春男(昭和13年卒)
- 事務局 山崎敬生(昭和32年卒)  
総務部(正) 伊藤茂雄(昭和31年卒)  
事業部(正) 長棟良元(昭和37年卒)  
組織部(正) 三浦昭生(昭和38年卒)  
会計(正) 結城康郎(昭和42年卒)  
会(副) 向殿政男(昭和36年卒)  
組(副) 加藤真義(昭和36年卒)  
部(副) 二村昌也(昭和33年卒)  
服(副) 服部雄二(昭和44年卒)

次年度ホスト学年代表幹事挨拶

37年卒 福島啓充

本年度ホスト学年代表の天野洋一先輩から、次年度は三十七年卒が担当になるので準備をするようにとの厳しい通告を受け、正直いってとまどっています。

総明会について先輩諸兄から話を聞くにつけ、毎年ホスト学年の担当幹事は大変な時間と労力を費して運営してきたのだな、と感心するとともに深く敬意を表する次第です。

ともあれ、次年度の総明会を引き受ける以上、先輩諸兄が築いた輝かしい伝統を傷つけないように、また三十七年卒の恥にならないよう頑張るつもりであり、既に同期の長棟良元、吉田信行、小林敏郎君らと話し合っておりま。

総明会々員の皆様方の御指導、御協力を心より御願い申し上げます。

最新版 総明会名簿

好評発売中

総明会と冠して初めての会員名簿の最新版が発刊されました。五年に一度の増補・改訂版であり、会員相互の親睦と協力を深めるための必須の一冊です。

〈頒布の要領〉  
①一冊、〇〇〇円(送料共)  
十冊以上の場合の特価二、〇〇〇円(送料共)。

②申込みは現金書留にて、左記宛にお申込み下さい。

〈宛先〉〒101  
千代田区神田猿樂町二の四の一  
明治大学付属明治高等学校内  
「総明会」新井久雄

協賛 総明会

昭和三十四年卒

パーティション 設計施工  
ブラインド  
三幸装飾株式会社  
代表取締役  
服部健之助

港区六本木三丁目八番八号  
三河台ハイムビル  
四〇五二〇二五八  
四〇五二〇二五八  
四〇五二〇二五八

昭和三十八年卒

有限会社 天野商店  
代表取締役 天野盛之  
荒川区東尾久二丁目四十五番七  
八九二二〇二〇二

昭和三十五年卒

電気工事材料総合卸商社  
太陽電工株式会社  
里見 等  
杉並区下井草五丁目四十八番八  
三九五二二〇二〇二

昭和三十五年卒

中力製菓  
石鍋政久  
墨田区錦糸四丁目九十一番八  
六六二二〇二〇二

昭和三十五年卒

ヒラマ金物株式会社  
副社長 平間克己  
江東区亀戸一丁目三十一番六  
六六二二〇二〇二

昭和三十四年卒

省力機械設計製作  
株式会社 東洋技研  
代表取締役 磯 時男  
足立区西伊興町一丁目三十八  
八五五二二〇二〇二

あなたと私の話題の広場  
エビスグランドボール

株式会社 東京木工所  
取締役社長 谷口政幸  
昭和三十五年卒  
副支配人 高沢年晴  
渋谷区恵比寿南一丁目一七番八  
七二五二二〇二〇二

川崎市中原区上小田中二丁目三番三  
〇四四二二〇二〇二

昭和三十五年卒

株式会社 ハイテックス  
代表取締役 北東庸志  
川崎市中原区上小田中二丁目三番三  
〇四四二二〇二〇二

昭和三十五年卒

株式会社 木屋酒店  
亀井孝二  
墨田区石原一丁目三十四番八  
六六二二〇二〇二

昭和三十五年卒

有限会社 若生書房  
矢部 隆  
中央区日本橋小伝馬町二丁目三番三  
六六二二〇二〇二

昭和三十二年卒業

明中二一会  
幹事 秋元浩一 〇四六二二〇二〇二  
三浦清昭 〇四六二二〇二〇二

昭和三十三年卒

時計・貴金属卸  
株式会社 テイムソン  
代表取締役 鈴木寿雄  
台東区台東二丁目十六番六  
八三五二二〇二〇二

昭和十二年卒

中富商事株式会社 中富順隆  
中富 光國  
千代田区神田美土代町七  
二九二二二〇二〇二

昭和三十五年卒

太陽信用金庫  
板橋支店  
副社長 鹿島健一  
板橋区上板橋三丁目三十一番二  
九三二二二〇二〇二

昭和三十五年卒

協栄自動車  
岩崎健二  
相模原市新磯野一丁目五番一  
二八二二二〇二〇二

昭和三十四年卒

ダイキョー株式会社  
大谷内毅尚  
港区西新橋一丁目八番一  
吉田ビル3F  
五〇四二二〇二〇二

昭和三十四年卒

三和繊維株式会社  
昭和三十四年卒  
専務取締役 小林 功明  
常務取締役 小林 久剛  
文京区千石四丁目三十九番九  
九四六二二〇二〇二

昭和三十七年卒

三和繊維株式会社  
昭和三十七年卒  
専務取締役 小林 功明  
常務取締役 小林 久剛  
文京区千石四丁目三十九番九  
九四六二二〇二〇二

昭和三十七年卒

昭和三十七年卒

# 明治大学付属明治高等学校同窓会会則(改正案)

## 第1章 総 則

- 第1条（名称）  
本会は、明治大学付属明治高等学校同窓会であって、総明会と称する。
- 第2条（目的）  
本会は、母校の教育を受けた同窓生の知的および精神的連帯のもとに、会員相互の結束と親睦を図るとともに、母校の伝統と名声を維持し、かつ母校のその教育事業の発展のためにこれを賛助することを目的とする。
- 第3条（事業）  
本会は、前条の目的を達成するための事業として、次の事を行う。  
1. 会員名簿を整備し、刊行すること。  
2. 会報などの広報物を発行すること。  
3. 総会にあわせて行う会員大会その他の懇親会を開催すること。  
4. 同期会の開催を助成し奨励すること。  
5. 本会と母校との間における協力関係を維持し、促進すること。  
6. 母校に対する賛助活動を推進すること。  
7. その他、本会の目的を達成するために必要なこと。
- 第4条（事務局、所在地）  
本会の事務を行うため事務局を設ける。事務局は、明治大学付属明治高等学校内に置く。

## 第2章 会 員

- 第5条（会員資格）  
本会は、明治大学付属である旧制・新制明治中学校もしくは明治高等学校の卒業生並びに同校に在籍したことのある者を会員とする。
- 第6条（会費）  
会員は、会費を納入するものとする。会費の額およびその徴収の方法は、理事会が明治大学付属明治高等学校校長の同意を得て定める。
- 第7条（分担金）  
同期会は、本会を運営する費用に充てるための分担金を納入するものとする。分担金の額およびその納入方法は、評議員会で定める。
- 第8条（特別会員）  
母校の教職員である者およびその職にあった者を特別会員とする。特別会員は、本会が行う事業に参加することができる。

## 第3章 総 会

- 第9条（総会の招集）  
定時総会は毎年1回開催し、臨時総会は必要のあるときに開催する。定時総会は、会員の懇親を目的とする会員大会とあわせて行うものとする。総会は、会長がこれを招集する。総会の招集は、本会が発行する会報に掲載し、もしくはその他の方法で会員に通知して行うものとする。

## 第10条（総会の議事）

総会は、この会則に定める事項およびその他の重要な事項のうち理事会もしくは評議員会が総会において議決することを適当とした事項を議決する。総会の議長は、会長または会長によって指名された者がこれにあたる。議会の議事は、出席会員の過半数でこれを決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

## 第4章 役 員

- 第11条（役員の種類及び数）  
本会に理事10人以上20人以内および監事2人を置く。  
会長および副会長は、総会の決議をもってこれを選任する。  
会長は、会員のうちから理事および監事を選任する。理事および監事は、選任後最初の評議員会の承認を得るものとする。  
専務理事および常務理事は、理事会の決議をもってこれを選任する。  
役員の任期は2年とする。但し、再任を妨げない。
- 第12条（理事会）  
本会の会務の執行は、理事会がこれを決する。  
理事会は、会長がこれを招集する。理事会の議長は、会長またはその理事会で指名した者がこれにあたる。  
理事会の議事は、出席理事の過半数でこれを決し、可否同数のときは議長の決するところによる。  
理事は、書面により理事会の決議に加わることができる。  
監事は、理事会に出席して意見を述べることができる。
- 第13条（会長、副会長、専務理事、常任理事および常任理事会）  
本会に会長1人、副会長2人以上、専務理事1人および常任理事5人以上を置く。  
1. 会長が本会を代表し、会務を総理する。  
2. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、あらかじめ会長が指名した順序にしたがい会長の職務を代行する。  
3. 専務理事は、常務に属する会務を総括してつかさどり、かつ事務局を総括する。  
4. 常任理事は、常務に属する会務を分担してつかさどる。  
本会の常務に属する会務は、前項各号に掲げる理事をもって構成する常任理事会が、これを決する。  
常任理事会は、会長がこれを主宰する。常任理事会には、監事を出席させることができる。
- 第14条（監事の職務）

監事は、本会の会計および財産の状況ならびに会務の執行を監査する。  
監事は、監査の結果を総会に報告する。

第15条（名誉役員）  
本会に名誉会長、名誉顧問および顧問を置くことができる。  
名誉会長、名誉顧問および顧問は、本会または母校に特別の功勞のあった者のうちから理事会の承認を得て会長がこれを委嘱する。  
学校法人明治大学の総長は、その在職中名誉顧問としてこれを推戴する。  
明治大学付属明治高等学校の校長は、その在職中顧問としてこれを推戴する。

## 第5章 部 会

- 第16条（部会の設置）  
本会は、第2条の目的の達成および第3条の規定に掲げる事業の遂行のために必要な事項を調査し、研究し、審議し、または実施する機関として部会を設けることができる。  
部会は部会長1人および部員2人以上をもって構成する。  
部会長は理事のうちから理事会の決議により会長がこれを委嘱し、部員は会員のうちから会長の同意を得て部会長がこれを委嘱する。  
部会は、部会長がこれを主宰する。
- 第6章 評議員及び評議員会
- 第17条（評議員）  
本会に、同期会ごとに1人の評議員を置く。同期会は、同期会の会員のうちから評議員を選任して会長に届出るものとする。  
同期会が結成されていないか、もしくは同期会において評議員を選任できない事情があるときは、会長は、当該学年のために同学年の会員の中から仮評議員を選任できる。
- 第18条（評議員の職務）  
評議員および仮評議員は、評議員会に出席するほか、この同窓会の事務のうちその属する同期会の関係で必要な事務を処理する。  
評議員および仮評議員は、適宜代行者を選任して評議員会への出席、その他の事務処理を代行させることができる。
- 第19条（評議員会）  
評議員会は、理事会が総会において議決することとした事項を除き、この会則に定める事項およびその他の重要な事項につき議決する。  
評議員会の議長は、評議員の中から会長が指名した者がこれにあたる。  
評議員会は、会長が適宜これを招集する。  
評議員会の議事は、出席評議員、仮評議員の過半数でこれを決し、可否同数のときは会長の決するところによる。  
議長は、評議の経過および結果を会長

に報告する。

## 第7章 同 期 会

- 第20条（同期会）  
会員は、同期会を組織するものとする。同期会は、同期会員名簿を整備し、この会則の規定に沿う規約その他運営に関する準則を定めるものとする。同期会、評議員の職務の執行をたすけなければならない。

## 第8章 会 計

- 第21条（会計年度）  
本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。
- 第22条（基金）  
会費および総会で基金繰入れを決議した資金は、基金として積み立て、他に流用することができない。  
基金は、総会が決議でこれを取り崩すことができる。
- 第23条（経費）  
分担金および寄付金ならびに財産から生じる果実その他の収入は、この同窓会の経費にあてる。
- 第24条（予算）  
予算は、会長がこれを作成し、総会に提出してその承認を得なければならない。
- 第25条（決算）  
本会の収入支出の決算は、監事がこれを監査し、会長がその監査報告とともに、これを総会に提出しなければならない。

## 第9章 補 則

- 第26条（特別決議）  
会則の改正および解散に関する総会の決議は、出席会員の4分の3以上にあたる多数をもってこれをする。
- 第27条（届出）  
会員は、氏名、住所および職業を変更したときは事務局に届け出るものとする。  
同期会は、同期会員名簿および役員名簿を事務局に届け出るものとする。

## 附則

（施行期日）この会則は、昭和63年11月27日から施行する。  
（経過規定）この会則の施行前に役員であった者は、この会則によって選任されたものとみなす。但し、会長、副会長、専務理事、常務理事であったものを除き理事は退任したものとみなす。代表幹事であった者は、この会則による評議員とみなす。但し、1つの同期会から2人以上の代表幹事が選任されていた場合には、その者の互選により速やかに評議員となるべき者を定め会長に届け出るものとし、届け出のない場合には会長が指名するものとする。

昭和三十三年卒 入船堂産業株式会社 代表取締役社長 船生泰司 台東区元浅草三十一一九一六 八四一〇九一六	昭和四十二年卒 玩具製造 株式会社 イトウ 代表取締役 伊藤秀文 台東区浅草橋三六二一五 八五一二六〇六二五六四	昭和三十五年卒 株式会社 太洋社 代表取締役 佐藤達二 台東区鳥越二一〇一七 八五一〇七二二	昭和三十五年卒 丸久上州屋呉服店 ベビー部 茂呂政男 荒川区東日暮里六二二二三 八〇六二〇二九	昭和三十六年卒 飛栄産業株式会社 取締役社長 飛嶋 奏 千代田区神田神保町二一四 二三四二五一一
--	---	--	--	--



富士火災海上保険株式会社

代理店

株式会社 鈴木自動車整備工場

昭和35年卒 取締役 大盛孝次（旧姓鈴木）

民間車検場・東京日産自動車販売株式会社協力工場

足立区足立4-10-2 TEL 03(886)1108代

# 喉頭ガンを克服、夢は甲子園出場

## 絶望のドン底から必死のリハビリで脱出 声帯なくても明高魂で高校野球部監督に

大阪の古豪、明星高校の野球部監督・松田龍太郎氏（五五）は、六十年十月に喉頭ガンを手術。以来、声帯のないハンディキャップを背負いながらも、島岡御大に叩き込まれた不屈の明治魂で、甲子園出場の夢の実現に闘志を燃やしている。

松田氏は、既にご存知の方も多いであろうが、明高時代の二十五春から三季連続、選手で甲子園に出場。そして母校の監督としても二度、甲子園の土を踏んでいる闘将だ。明治高校時代には御大島岡監督に明治魂を徹底的に叩き込まれ、その不屈の精神力は今でも語り草になっている程である。

は声が出たり出なかったりの連続で、検査の結果、喉頭ガンであることが判明。六十回近いコバルト照射をしたが悪化の一途で、ついに同年十月一日に、喉頭摘出手術を受けることになった。

それから三年、食道発声という第二の声を出すために、連日厳しいリハビリテーションに取り組む、やっと蚊の鳴く様な声だが、日常の会話程度なら話せるようになっていく。

この大きなハンディキャップを背負った松田氏を、明星高校側はあたたかい配慮を持って迎えてくれた。声が出ないので教壇に立てない彼に、図書館の仕事と、引続き野球部監督を続けさせてくれたのだ。失意のどん底にいた松田氏は、手術から三ヶ月後、グラウンドに立った。もちろん怒鳴ることは出来ないが、腹の底から「イケーッ」と声なき声を振り絞る。何時でも気力でノックバットを振っている。選手たちも松田氏の意を良く汲み取り、この魂の声に奮発し、猛練習に取組んでいる。松田氏は「続くかぎり何時までも若人育成のために情熱を燃やし続けて行きたい」と、意を新たにしている。

松田氏を支えた不屈の精神、明治魂を、彼は「誰にも負けないうらい、今だに持っています」と言い切る。彼の旺盛な気力がガンを克服し、若者たちに夢を与え続けている。

# 響けこの明治魂の声！

昭和三十三年、第三十回夏の大会、甲子園出場決まる。



## ガン克服 熱血指導 明星・松田監督

S62年7月、読売新聞「サイドスロー」より転載

大阪の古豪、明星の松田龍太郎監督（五五）。野球を通じて、教育に情熱を燃やしているが、六十年秋、コウトウガンの宣告を受けた。言葉で言い表せないショック。「もう生徒たちに野球を教えられないかもしれない」。うちひしがれた思いでノドの切開手術を受けたのが同年十月。肝心の声帯を失っては教壇にも立てないのではないか……。そんな思いで学校に戻ったが、寒いグラウンドで汗を流す野球部員をみて奮い立つ。翌年一月にはもうノックバットを握っていた。

今もノド元にぽっかり穴があいている。振り絞るように出すしやがれ声は、少し離れると届かない。「じつくり球をみていけ」。ベンチでは、監督に影のように寄りそうマネジャーが代わって大声を出す。夏五回、春四回の甲子園出場を誇り、三十八年夏には全国優勝を果たしている明星だが、四十七年夏を最後に甲子園の土を踏んでいない。東京・明治高時代の二十五春から三季連続、選手として甲子園出場。母校の監督としても二度出ているだけに、最近の低迷ぶりがたまらないそう。府下でも有数の進学校で「勉学と野球を両立させている生徒たちを一度は甲子園に連れて行ってやりたい」というのが夢だ。

昭和四十四年卒 株式会社 小暮電機商会 専務 小暮 一雄 豊島区駒込六三〇一〇 九四〇一〇六九八		昭和四十四年卒 中学補習・高校受験 文化学園 松本和臣 市川教室 千葉県市川市北方一〇〇 〇四七三三三六五〇 江戸川教室 江戸川区後崎町一六二九 六七〇一九七		エーゼット株式会社 昭和四十四年卒 大導寺 和幸 昭和四十四年卒 服部 雄二 千代田区神田佐久間町四二二 八六五九五七七〇		昭和四十四年卒 総合インテリア ソーケンエンタープライズ株 小川 滋 葛飾区青戸四一八一二 六〇三三八八		昭和四十四年卒 原田建塗工業株式会社 代表取締役 原田 繁 豊島区東池袋四一四一四 九八八三三〇三		昭和四十二年卒 土田 昌功 渋谷区代々木五二九一七二〇八 四六八八六八五		昭和三十八年卒 株式会社 三間製本所 三間 古志雄 千代田区猿樂町一四一三 二九一四三七			
昭和五十三年卒 太栄館 小池 康夫 文京区本郷六〇一〇一〇二 八一二六六六		昭和三十五年卒 寿山堂印刷株式会社 代表取締役 椎橋 稔 横浜市神奈川区神之木台五一八 〇四五一四三二七四三〇		昭和三十六年卒 株式会社 ステップス 代表取締役 伊藤 昭 港区芝公園四一四 四五九三六六		昭和四十一年卒 41明友会 会長 亀井 肇 墨田区向島五三三三五 六三三三三〇五 事務局 菊池 博道 台東区下谷三十四五 八七二五四二七		株式会社 豆幸木下商店 木下 良一 墨田区錦糸二二二二二 六三三三八八		レストラン キングステール 大澤 富次 荒川区南千住七三三三六 八〇二二四二二九		ちゃんこ 巴 湯 工藤 建次 墨田区両国二二二七六 六三三三六二九		菊本紙業 菊本 哲也 墨田区千歳二二二四一七 六三三三〇七六	

鰻 かねいち

昭和31年卒

上野店

鈴木 勝

台東区東上野1-23-5

831-7122

昭和36年卒

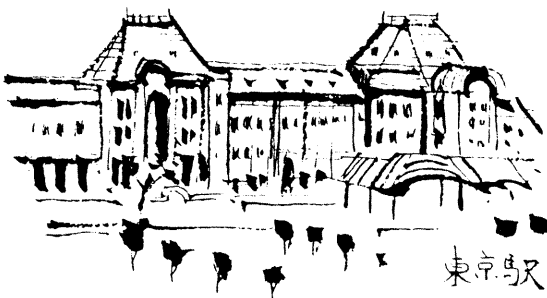
神保町店

鈴木 隆夫

千代田区神田神保町1-51

291-9221

明高OBのお店



小さな旅してみたい

プチレストラン

オリエント急行

252-9394-5

中富商事株式会社

東京YMCAレストラン

本館改築工事中も営業しております

292-7241-2

社長 中富 頴隆 昭和19年卒

中富 光國 昭和12年卒

監査役 小林 正雄 昭和5年卒

御宴会  
孫屋

本郷二丁目交差点  
八二一四四九代

昭和三十三年卒

二村 昌也

文京区本郷三十一番五十二  
八二一四四九代

おいしく  
楽しく  
しゃれた  
お店です  
皆さん  
お誘い合つて  
一度  
たずねて  
みて下さい

昭和三十三年卒

ラーメン 開楽

白沢 直樹

北区王子二二八一九  
九一四一七二一四

昭和34年卒

加藤

251-9166

内藤 和衛

〒101 千代田区神田須田町1-11

昭和三十四年卒

酒処 源平

松下 磐

港区新橋一五五七  
五八〇一〇四七六

昭和三十三年卒

よし乃 鮎

神林 佳弘

千代田区丸の内二四一  
丸ビル地下街  
二〇一四一六六

昭和34年卒 柔道部OB

CAFÉ SALON 藍

岩崎 與士

千代田区神田小川町3-20  
第2竜名館ビル1F 291-6910

昭和三十四年卒

すき焼 御宴

いし橋 神田明神下

石橋 義一  
千代田区外神田三六八  
二五二一四八四一五

昭和三十七年卒

御食事・御宴会に  
割烹「三紀久」

柿沼 節三

埼玉県草加市西町一三三  
〇四八九二四一四七六五

昭和三十九年卒

食事処 末広

浜口 武

埼玉県大宮市吉敷町四一三  
〇四八六四二一六一〇五

昭和三十九年卒

鰻・幕の内弁当

神川 裕

千代田区猿樂町一三三  
二九一八四八九

昭和五十二年卒

パフ・レストラン グレイシャル

店長 池田 英次

千代田区神田駿河台一六  
お茶の水スクエアB館B1  
二二二二〇四〇

昭和三十三年卒

鳥料理 江戸清

小川 英一

中央区日本橋小伝馬町五二  
六六二二九八

昭和三十五年卒

亀井 堂

倉本 忠巳

新宿区神楽坂六三九  
二六九一〇八七

銀座

すきやき・しゃぶしゃぶ割烹

吉澤

中央区銀座三三九  
五四二一九六八

昭和三十六年卒(明会)

花長(御座敷天ぷら)

チャップリン19回来店

本多 由明

中央区日本橋浜町二二七  
六六六六六七一

昭和三十五年卒

●お菓子の森 イチフジ  
株式会社 一不二

代表取締役

斉藤 照雄

千代田区神田神保町一五八  
二九二二二二六六七七

昭和三十五年卒

株式会社 柿沼家具センター

代表取締役 柿沼 吉郎

台東区寿二二〇一  
八四四一五九一〇

昭和三十五年卒

株式会社 デイエス

代表取締役 福見 進

目黒区鷹番二五五  
七九三二六二二

昭和三十五年卒

丸山印刷株式会社

代表取締役 丸山 哲朗

墨田区向島三二二  
六二四四八四一

昭和三十五年卒

有限会社 マリオン商事

飯島 洋

台東区東上野四九一  
八四一三三〇三

編集後記

六十三年度総  
明会総会の幹事  
が三十五年卒に  
指名され、六十二年十一月以降  
十数度の会合をもち、あらかじ  
め分担を決め各々の任に当つ  
てまいりましたが、時間の経過  
と共に不安がつり、あらため  
て前任者の御苦労がよくわかり  
ました。又、会報の作成に当つ  
ては、前回があまりにも良く出  
来ているのに驚くばかりでし  
た。我々編集担当はこの前号を  
参考に(その実全くの模倣でし  
た)紙面の充実を計ることに専  
念いたしました。制作に当りま  
しては、依頼原稿・広告掲載各  
位の早い時期の申し込みを戴き  
又、理事会の役員方の適切なア  
ドバイスと多大の御協力により  
予定以上の進行状況で作成する  
ことが出来ました。大任を果た  
した今、皆様方には心から御礼を  
申し上げます。 編集員一同

株式会社 大平 舎  
大平舎美術印刷株式会社

昭和三十五年卒

稲垣 公章

昭和三十七年卒

稲垣 公紳

千代田区猿樂町一三三  
二九二二二二六六七七

昭和三十五年卒

相模製帽株式会社

長塚 光敏

台東区浅草橋五一八  
八六二二七七七八

昭和三十五年卒

青木 正貴

中央区佃一五五  
五三六二二五七八

昭和三十五年卒

株式会社 阪本商店

代表取締役 阪本 吉一

墨田区東向島六二二  
六二六二二二二

昭和三十五年卒

有限会社 竹中製作所

竹中 武史

港区白金三三三  
四四六二二六六